

足柄上地区在宅医療・介護連携センターだより⑥

家族と共に考える最期のとき—食べられなくなったら、どうしますか—

東京大学大学院人文社会系研究科死生学・応用倫理センター上廣講座特任教授

会田 薫子 先生

元.11.4 松田町公民館

台風 19 号の為、10 月 12 日を急遽、延期せざるをえませんでした。116 名の参加がありました。申込者の多くは、タウンニュースで知ったようですが、医療機関や薬局等でチラシ等を見た方の割合も多かったです。アンケート結果からは、ACP についての認知度は 18% で医療従事者に偏り、まだまだ低いことがわかりました。しかし、最期の時の医療について考えた方の割合や終活ノートの記入の割合は、平成 29 年度の奥野滋子先生の講演会より、増えていました。講演は、社会学や倫理学から、命をどう考えるべきか、終末期医療とエンドオブライフケアの違いなど深く考えさせられる内容でした。ちくま新書から『長寿時代の医療・ケア』に講演内容に近いものが書いてあります。また、先生より埼玉県と埼玉県医師会で作成した『さあ、始めよう、人生会議』という DVD を頂きました。両方を皆様に貸出し致しますので職員研修などでご活用ください。



気品と教養のオーラを漂わせる雰囲気や論点はきっぱりと潔く芯の強い女性を感じました。

新しい在宅医療の方向性

元.11.26 開成町民センター

全国在宅療養支援診療所連絡会会長・日本ケアアライアンス議長 新田 國夫 先生



この優しく包み込むような笑顔と親近感が魅了されました。

一般住民も含めて多職種の方々 62 名にご参加いただきました。地域包括ケアシステムを考えるメンバーが集まったといえます。参加者の近くに来てマイクを向けてフロアと意見交換して頂いたことが大変良かったと評価されました。多くの方からアンケートに意見をもらい、『参加者と語り合うように多くの方の意見を聞いてくださる先生の姿勢にお人柄を感じ、知識だけでないあたたかさを感じました』(60 歳代介護福祉士)『専門職だけでなく市民を巻き込んで展開していかないと在宅医療はなかなか変わらない。行政がもっと市民に働きかけを』(看護師)『行政との交流や連携』(看護師) (医師) (CM) などありました。



第 14 回医療・介護地域連絡会 褥瘡対策～当院の状況をふまえて皮膚・排泄ケア認定看護師 村松 良子さん 28 施設 53 名参加

図表、動画や写真、事例を用いて大変わかり易かった。褥瘡ができるメカニズムの説明から、ケアまで具体的な説明でした。また、高齢者の皮膚の脆弱から、上肢等四肢に発生しやすいスキン・ケアについてと予防は、保湿ケアと外力保護ケアだと丁寧に説明された。高齢者の介護の場面でも摩擦やズレから経験があると思いますので参考になりました。県立足柄上病院には認定看護師さんがたくさんいますので、これからも色々教えてもらいましょう。是非リクエストを！



第1回在宅医療セミナー 元.10.15 県立足柄上病院 『診療報酬から見た在宅医療』



講師を当センター長金原一弘先生が務め（緊張の余り、食事が喉を通らなかった？）、医師5名、看護師3名、事務職4名、事務局その他5名計17名の参加がありました。多くの事例を挙げて詳細に説明されていました。また、負担の少ない在宅医療の心構えや工夫についてもお話されました。診療の後の短い時間でしたが、質問も出て無事初めてのセミナーが開催されました。第2回目は2月20日の予定です。



第4・5回看取りの学習会 元.11.21 / 元.12.18 県立足柄上病院

『なぜ、現場での看取りが求められているのか』

元.11.21 参加者 27名

グループワークで看取りの現場に立ち会って不安や困ったことを話し合った。お互いに共感、理解して考える機会となった。デスカンファレンスの必要性を感じたようでした。

『最期まで心を込めたエンゼルケア・メイクの実践』

元.12.18 参加者 32名

人形を使った実技を撮影しながらスクリーンに映したので手元がわかり良かった。エンゼルメイクはご遺体を保護する目的もあることを知りました。



緩和ケア認定看護師の曾我輝之さんと山口ひろみさんには6回に亘り、お世話になり感謝いたします。実130名延べ200名以上の方が参加いただき、皆出席の方もいられます。施設での看取りは、今後ニーズは高くなると思います。本人、家族、介護者が安心して看取りが出来るためには、何よりチームワークの連携が最も大切だと確認できました。



編集後記 令和元年10月から12月までの事業を紹介しました。

研修を重ねてきて事務室には様々な資料が集まりました。皆様の学習や職員研修に役立てて頂きたいと思いますのでご紹介いたします。無料で貸し出しますのでお気軽にお問い合わせください。

- ① 蜂谷英津子先生：DVD『心をつかむ介護職員研修シリーズ』全3巻（基本編、施設編、訪問編）
- ② 会田薫子先生：DVD『さあ、始めよう、人生会議』 ちくま新書『長寿時代の医療・ケア』
- ③ 辻哲夫先生：著書「まちづくりとしての地域包括ケアシステム：持続可能な地域共生社会をめざして」
「医療・介護・福祉の地域ネットワークづくり事例集」
- ④ トランプゲーム「もしばなゲーム」
- ⑤ 長谷川ひろ子監督：著書「生死 ^{いきたひ}生前四十九日」
- ⑥ 相田里香先生：雑誌「訪問看護と介護」2018年4月号 死を前にした人に私たちが出来ること
座談会『苦しむ人にどう向き合うか』
事例検討会『治療を断念していたALS患者の女性と夫をチームで支える』
- ⑦ 兵庫県朝来市：著書（主マネのための）「ケアマネジメント支援サクセスガイド」「地域ケア会議サクセスガイド」
- ⑧ 国森康弘さん：写真集「いのちつぐ『みとりびと』」全3巻12冊

